

応 接 録

相 談 者 法務省出入国在留管理庁審判課、内閣官房
国家安全保障局ほか関係省庁（※）

担 当 者 馬渡参事官

相談年月日 令和2年3月4日～令和2年3月5日

〔件名〕 中華人民共和国で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症
に関する政府の取組について（４）（「中華人民共和国で発生した新
型コロナウイルス感染症に対する水際対策の抜本的強化に向けた更
なる政府の取組について」）

〔相談・応接要旨〕

標記の件名について、別添のとおり、照会があったところ、意見がない旨
回答した。

（※）ほか関係省庁

- ・ 外務省アジア大洋州局地域政策参事官室、領事局外国人課
- ・ 厚生労働省大臣官房厚生科学課健康危機管理・災害対策室
- ・ 国土交通省大臣官房危機管理室、海事局外航課、航空局航空ネットワー
ク部航空事業課

〔備考〕

近藤長官及び北川第一部長に御相談済み。

中華人民共和国で発生した新型コロナウイルス感染症に対する
水際対策の抜本的強化に向けた更なる政府の取組について
(出入国管理及び難民認定法の適用)

〔 令和 2 年 3 月 6 日
閣 議 了 解 案 〕

中華人民共和国で発生した新型コロナウイルス感染症について、感染が世界的に拡大している現下の状況を踏まえて、水際対策の抜本的強化に向けた更なる施策を関係省庁が連携して実施することとし、中華人民共和国等で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症に関する政府の取組について（令和2年2月26日閣議了解）3に基づき、閣議了解を行い、下記により対応する。

記

出入国管理及び難民認定法第5条第1項第14号の適用について

- 1 法務大臣は、当分の間、大韓民国の特別市、広域市、特別自治市、道、特別自治道、市、郡若しくは区又はイラン・イスラム共和国の州（以下「特別市等」という。）において、新型コロナウイルス感染症の感染者が多数に上っている状況等があり、当該特別市等に滞在する外国人の本邦への上陸を拒否すべき緊急性が高い場合には、本邦への上陸の申請日前14日以内に当該特別市等における滞在歴がある外国人については、特段の事情がない限り、出入国管理及び難民認定法第5条第1項第14号に該当する外国人であると解するものとする。
- 2 1に基づく取扱いについては、3月7日午前0時（日本時間）から行うものとする。
- 3 1の変更については、別途閣議了解を行う。

以 上

中華人民共和国で発生した新型コロナウイルス感染症に対する
水際対策の抜本的強化に向けた更なる政府の取組について
(検疫の強化)

〔 令和 2 年 3 月 6 日
閣 議 了 解 案 〕

中華人民共和国で発生した新型コロナウイルス感染症について、感染が世界的に拡大している現下の状況を踏まえて、水際対策の抜本的強化に向けた更なる施策を関係省庁が連携して実施することとし、その重要性に鑑み、検疫の強化について、閣議了解を行い、政府一体となって下記により対応する。

記

- 1 検疫所長は、当分の間、中華人民共和国又は大韓民国から来航する航空機又は船舶に搭乗し又は乗船していた者については、検疫法第 34 条の規定に基づく政令において準用する同法第 14 条第 1 項第 1 号に規定する隔離又は同項第 2 号に規定する停留を必要なものに行うほか、検疫所長が指定する場所において 14 日間待機し、国内において公共交通機関を使用しないことを要請することとする。

以 上

中華人民共和国で発生した新型コロナウイルス感染症に対する
水際対策の抜本的強化に向けた更なる政府の取組について
(航空機の到着空港の限定等)

〔 令和 2 年 3 月 6 日 〕
閣 議 了 解 案

中華人民共和国で発生した新型コロナウイルス感染症について、感染が世界的に拡大している現下の状況を踏まえて、水際対策の抜本的強化に向けた更なる施策を関係省庁が連携して実施することとし、その重要性に鑑み、航空機の到着空港の限定等について、閣議了解を行い、政府一体となって下記により対応する。

記

- 1 国土交通大臣は、3月9日午前0時（日本時間）以降に中華人民共和国又は大韓民国を出発し本邦の空港に到着しようとする航空機（旅客の運送に係るものに限る。）については、当分の間、その到着空港を成田国際空港及び関西国際空港に限るよう、関係する航空会社に対して要請することとする。

また、国土交通大臣は、3月9日午前0時（日本時間）以降に中華人民共和国又は大韓民国を出発し本邦の港に入港しようとする船舶については、当分の間、旅客運送を停止するよう、関係する事業者に対して要請することとする。

以 上

中華人民共和国で発生した新型コロナウイルス感染症に対する
水際対策の抜本的強化に向けた更なる政府の取組について
(査証の制限等)

〔 令和 2 年 3 月 6 日 〕
閣 議 了 解 案

中華人民共和国で発生した新型コロナウイルス感染症について、感染が世界的に拡大している現下の状況を踏まえて、水際対策の抜本的強化に向けた更なる施策を関係省庁が連携して実施することとし、その重要性に鑑み、査証の制限等について閣議了解を行い、政府一体となって下記により対応する。

記

- 1 外務大臣は、中華人民共和国又は大韓民国に所在する日本国大使館又は総領事館において3月8日までに発給された一次査証及び数次査証の効力を、当分の間、停止する取扱いを行うこととする。
- 2 外務大臣は、中華人民共和国のうちの香港特別行政区及びマカオ特別行政区並びに大韓民国との間の査証の免除措置の適用を、当分の間、停止する措置を講ずることとする。
- 3 1及び2に基づく取扱いについては、3月9日午前0時(日本時間)から行うものとする。
- 4 1及び2の変更については、別途閣議了解を行う。

以 上

中華人民共和国で発生した新型コロナウイルス感染症に対する
水際対策の抜本的強化に向けた更なる政府の取組について
(水際対策に関する日中韓を始めとする国際協力)

〔 令和 2 年 3 月 6 日 〕
閣 議 了 解 案

中華人民共和国で発生した新型コロナウイルス感染症について、感染が世界的に拡大している現下の状況を踏まえて、水際対策の抜本的強化に向けた更なる施策を関係省庁が連携して実施することとし、その重要性に鑑み、水際対策に関する日中韓を始めとする国際協力について閣議了解を行い、政府一体となって下記により対応する。

記

- 1 関係省庁の長は、中華人民共和国及び大韓民国を始めとする関係各国との間で、新型コロナウイルス感染症に係る水際対策に関する情報共有を緊密に行うなど国際的な協力を強化することとする。

以 上